

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	航空知識 I						
学科・コース	エアライン科 グランドスタッフコース						
担当教員	今井 美佳						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	航空業界における様々な仕事を理解し、必須知識である専門用語やレターコードの習得を目標とします。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク <input type="radio"/>		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	DVD鑑賞資料を用いてのグループワーク					
	3～4	日本及び外国主要航空会社コード			① 国内外主要航空会社コードを理解できる		
	5～8	アライアンス及び共同運航			② 国内外主要空港コードを理解できる		
	9～10	日本及び海外主要空港コード			③ アルファベットコードを理解し 様々な単語をコードに変換し表現できる		
	11～12	マルチプルエアポート、アルファベットコード			④ 基本的な専門用語を理解できる		
	13～14	専門用語			⑤ 基本的な危険物知識を理解できる		
	15～16	前期試験			⑥ 国際線における100mlルールを理解できる		
	17～20	世界の旅客機とメーカー、シートマップ			⑦ アライアンスをグループ分けできる		
	21～22	航空機について			⑧ 出入国知識、CIQ各分野の役割を理解できる		
	23～24	基本的な危険物及び手荷物ルール					
	25～26	出入国知識（旅券・査証・CIQ）					
	27～28	総復習					
	29～30	後期試験					
成績評価方法	出欠席（20％）、授業態度（20％）、前期試験（30％）、後期試験（30％）						
使用テキスト ／教材	・航空知識テキスト ・講師作成資料 ・夢のお仕事シリーズDVD						
関連科目	航空知識 II						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	グランドハンドリング概論						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	望月 照夫						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・講義	1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	航空機の到着から次のフライトまでに、機側で行われる様々な準備業務について正しく理解し、グランドハンドリング業務のは幅広い知識を身につけることを目標とします。また、16時間は中部スカイサポート（株）との連携授業です。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他 ○
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	グランドハンドリングとは・空港の施設と名称			① グランドハンドリングの概要の理解 ② 機側作業のフローチャートを描ける ③ GSEの機能を説明できる ④ ULDの種類と搭載可能な機体の理解 ⑤ ロードシートが読めること ⑥ 航空貨物の種類と取扱いを理解する		
	3～4	ステイタイムと機側作業					
	5～8	中部スカイサポート連携授業(誘導業務実習)					
	9～10	GSEの種類と役割					
	11～14	中部スカイサポート連携授業(空港見学)					
	15～16	ULDの搭降載					
	17～18	前期評価試験					
	19～22	中部スカイサポート連携授業(ソーティング作業)					
	23～24	航空貨物と必要な書類					
	25～28	中部スカイサポート連携授業(タイダウン実習)					
	29～30	後期評価試験					
成績評価方法	【前期】評価試験60%・出席率20%・授業態度20% 【後期】評価試験60%（うち連携企業評価50%）・出席率20%・授業態度20%						
使用テキスト ／教材	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・自作プリント						
関連科目	旅客実習Ⅱ						
その他	グランドハンドリングに興味を持ち、その仕事に就職できるよう期待します。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	TIM基礎						
学科・コース	エアライン科 グランドスタッフコース						
担当教員	今井 美佳						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	後期	必修	30	2	
授業目的 到達目標	国際線の搭乗手続き時に必須である、各国の旅券・査証・入国の際の規則についての英文をTIM(Travel Information Manual)を用いて読み取る基礎力を身につけることを目指します。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○	反転授業	調査授業	フィールドワーク			
	双方向アンケート	ペアワーク	グループワーク ○	ロールプレイ			
	プレゼンテーション	PBL	模擬授業	その他			
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	海外渡航における旅券、査証、TIMの重要性			① TIMの重要性、電子渡航認証を理解できる。 ② 授業で取り上げた各国の空港コードを理解できる。 ③ 入国時における旅券の必要残存期限を計算することができる。 ④ 授業で取り上げた各国の査証の有無を理解できる。 ⑤ 入国時における無査証での滞在可能期限を計算することができる。 ⑥ 英文でのTIMATICの文面に慣れ、重要な箇所を見つけることができる。 ⑦ あらゆる旅程からTIMATICを見て搭乗手続の可否を判断できる。		
	3~4	電子渡航認証について					
	5~6	日本国籍：シンガポール行きTIM内容					
	7~8	日本国籍：台湾行きTIM内容					
	9~10	日本国籍：韓国行きTIM内容					
	11~12	日本国籍：中国行きTIM内容					
	13~14	日本国籍：オーストリア行きTIM内容					
	15~18	無査証滞在可能期限の計算 基礎					
	19~20	小テスト					
	21~24	無査証滞在可能期限の計算 応用					
	25~28	演習、総復習					
	29~30	後期試験					
成績評価方法	後期末本試験60%、小テスト30%、出席率及び授業態度10%						
使用テキスト ／教材	講師作成資料						
関連科目	TIM応用						
その他	※実務経験がある教員が担当する科目である。 電子辞書、電卓を持参すること。 小テストは1回のみの実施の為、欠席の場合は課題提出にて評価とする。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	エアライン筆記対策						
学科・コース	エアライン科/グランドスタッフコース						
担当教員	山崎 弘						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	60	4	
授業目的 到達目標	不得意とする非言語分野の学力向上をし、採用試験（SPI）で成果を出すことを目標とします。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1 ~ 4	基礎学力の確認と基本計算力			① 基本的計算力が定着する		
	5 ~ 10	数学的各種基本単位の修得			② 代数を扱える		
	11 ~ 15	基礎数学の考え方（百分率）			③ 百分率の計算ができる		
	16 ~ 14	基礎数学の考え方（距離、時間、速さ、容積）			④ 推論に対して情報を図示できる		
	15 ~ 20	割合と損益計算			⑤ 確率の考え方を習得して問題を解ける		
	21 ~ 25	推論と命題			⑥ 順列と組み合わせの相違を理解する		
	26 ~ 30	確率、組合せ、順列			⑦ 順列・組み合わせの問題が回答できる		
	31 ~ 34	集合の理論			⑧ 逆数を理解し仕事算問題を解ける		
	35 ~ 40	仕事算の考え方			⑨ 表とグラフの解釈ができる		
	41 ~ 42	表とグラフ			⑩ グラフの領域問題が解ける		
	43 ~ 45	資料解釈におけるデータの見方			⑪ 時間内での問題回答数をあげられる		
	46 ~ 60	SPI実践対策（練習問題による演習含む）			⑫ 設問に対する解法の手段を選定できる		
				⑬ 様々な出題に解法の選択ができる			
成績評価方法	【前期】・期末筆記試験（50%）、出席率（50%） 【後期】・期末筆記試験（40%）、後期課題（30%）、出席率（30%）						
使用テキスト ／教材	教材：キャリアデザインノート（オリジナルテキスト） 副教材（演習問題用）：これが本当のSPI3だ（講談社）						
関連科目	GSキャリアデザイン						
その他							

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	エアライン英語 I						
学科・コース	エアライン科/グランドスタッフコース						
担当教員	松永 清美・関根 由美子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	エアライン採用試験に向けTOEIC550点取得を目指します。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1~4	授業説明、各パート毎の解説					
	5~6	TOEICミニ模試				①TOEICテストについて理解する	
	7~8	TOEIC TEST Part1・2・5 説明と問題演習				② 各自の得意パートと苦手パートの把握	
	9~10	前期末テスト				③目標スコアの設定	
	11~18	TOEIC TEST Part3・4・6・7 説明と問題演習				④目標達成に向けた取り組み方法を確認	
	19~20	TOEICミニ模試				⑤単語力強化によるリーディング力強化	
	21~26	TOEIC TEST Part3・4・6・7 説明と問題演習				⑥ 英語耳を作り、リスニング力を強化	
	27~28	後期期末試験				⑦ 英語の音声に近い発音を習得する	
	29~30	TOEIC TEST Part3・4・6・7 説明と問題演習				⑧実際に仕事で使えるフレーズや単語を身に付ける	
成績評価方法	期末テスト50% 平常点（出席率・授業態度・課題提出・小テスト）50%						
使用テキスト ／教材	・キクタンTOEIC L&RテストSCORE500 ・POSITIVE STEPS TO THE TOEIC L&RTEST ・ミニ模試トリプル10 TOEIC L&Rテスト ・SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST BEGINNER						
関連科目	エアライン英語 II						
その他	レベルに応じて2クラス編成 電子辞書または英和辞典を持参すること						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	手話演習 I						
学科・コース	エアライン科/グランドスタッフコース						
担当教員	大川香織						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	手話検定 4 級合格を目標とします。また、基本的な手話会話を習得することを目指します。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業	○	調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	講義① 聴覚障害の基礎知識					
	3～12	第1講座～第5講座			① 基本的な会話を覚える		
	13～14	講義② 手話の基礎知識（ことばのしくみ）			② 表情を豊かに表す		
	15～44	第6講座～第20講座（8講座・20講座テスト）			③ 声を出さずに手話を表す		
	45～46	講義③ 聴覚障害者の生活（ゲスト講師）			④ 手話は言語であることを知る		
	47～48	ゲスト講師授業			⑤ 聴覚障害について理解する		
	49～52	手話検定対策授業			⑥ 全国手話検定 4 級合格を目指す		
	53～56	手話検定対策授業（ゲスト講師）			⑦ ゲスト講師との会話練習を学ぶ		
	57～60	手話検定対策授業			⑧ 指文字、4 級単語を覚える		
				⑨ 動画、ホームワークを予習する			
				⑩ 伝える努力をする			
成績評価方法	テスト60% 出席率40%						
使用テキスト ／教材	手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう						
関連科目	手話演習 II、ユニバーサルサービス						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	GS面接						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	航空業界の面接試験の対応力を対面・オンラインの両面から習得することを目標とします。姿勢や発声、第一印象等に繋がるアビランスも強化し、自分の出した回答からの質問にも答えられる瞬時の判断力と会話の引き出しを増やすことを目指します。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL	○	模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	面接の基本マナー①（身だしなみ・姿勢・発声・表情）					
	3～4	面接の基本マナー②（入室・退室、名乗り、お辞儀）			①自己について知る		
	5～6	自己分析①、自己紹介			②面接基本動作ができる		
	7～8	WEB面接対応術			③WEB面接の心得を知る		
	9～10	自己分析②			④印象の良い聴講姿勢を保つことができる		
	11～12	自己PR			⑤回答の引き出しをビルドアップできる		
	13～14	面接の基本的な質問			⑥協調性をもって取り組むことができる		
	15～16	前期評価（グループ模擬面接）			⑦将来のビジョンを答えることができる		
	17～18	グループディスカッション			⑧自分の回答に責任を持って答えることができる		
	19～22	企業研究			⑨突発的な質問に対して、時系列を守り、自分の言葉で落ち着いて回答できる。		
	23～24	志望動機					
	25～28	企業別過去出題質問による面接					
	29～30	後期評価（個人模擬面接）					
成績評価方法	期末試験（模擬面接）60%、提出物・取り組み姿勢30%、授業態度・出欠席10%						
使用テキスト ／教材	面接対応テキスト(オリジナル)、教員作成プリント						
関連科目	GSキャリアデザイン						
その他	身だしなみを整え、制服着用のこと。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	航空予約システム演習 I						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実習		1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	国際線の航空予約システムamadeusの操作習得を目標とします。空港・航空会社コード等の基本的な検索から、フライト情報や空席照会を学ぶことで、基本的な予約を作成するスキルを習得することを目指します。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	Amadeus Selling Platformの起動と終了コマンド					
	3～4	ヘボン式つづり			①アマデウスシステムの使い方を知る		
	5～8	情報の検索・照会			②ヘボン式ローマ字を覚え入力できる		
	9～12	空港コード、航空会社コード			③情報の検索の種類を覚え、クイックガイドから探せる		
	13～14	タイムテーブル、フライトスケジュール			④タイムテーブルを検索し読み取ることができる		
	15～16	空席照会、基本予約			⑤フライトスケジュールを検索し読み取ることができる		
	17～18	前期評価			⑥空席照会をし読み取ることができる		
	19～22	フライトの予約			⑦空席照会から基本的な予約ができる		
	23～26	フライトの予約（乗継便）			⑧ダイレクアクセスが理解できる		
	27～30	PNR (Passenger Name Record)の作成			⑨PNRを読み取ることができる		
		後期評価			⑩基本的なPNRを作成できる		
成績評価方法	期末試験60%、課題・小テスト30%、出席・授業態度10%						
使用テキスト ／教材	ユーザーガイド予約・アマデウス予約クイックガイド（amadeus発行）、教員作成プリント						
関連科目	航空予約システム演習 II						
その他	空港コード、航空会社コード等、オペレーションに必要なコードは必ず覚えていくこと。 分野ごとに確認テストを実施するので、きちんと復習をすること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)

2025 年度

授業科目名	旅客実習 I						
学科・コース	エアライン科/グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	グランドスタッフに必要な業務知識の基礎と基本的な接客スキルやホスピタリティを身に付けることを目標とします。実践に結びつくロールプレイを通して、業務への理解をさらに深め、将来グランドスタッフとして活躍できることを目指します。また、16時間は(株)ドリームスカイ名古屋との連携授業です。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	空港支援業務とは。グランドスタッフ業務の概要、必要なスキル・資質・アピアランス					
	3~4	カウンター業務基礎知識(各種コード・搭乗手続き)			①空港の業務を知ることができる		
	5~8	国内線搭乗手続きロールプレイングテスト、搭乗手続き			②航空業界の各コードを理解することができる		
	9~10	手荷物、バゲージクレームタグ・リミテッドリリース			③日本語・英語で搭乗手続きができる		
	11~12	搭乗口業務基礎知識(出発・NOSH)、制限旅客			④危険物を理解して手荷物預かりの案内ができる		
	13~14	6月12日:第1回(株)ドリームスカイ名古屋連携授業			⑤伝えるアナウンスができる(日・英語)		
	15~16	6月19日:空港研修(株)ドリームスカイ名古屋連携授業			⑥可搬の使って交信ができる		
	17~18	前期評価試験			⑦あらゆる種類の手荷物タグの役割を理解できる		
	19~20	9月11日:第2回(株)ドリームスカイ名古屋連携授業			⑧搭乗口での一連の業務を理解できる		
	21~22	国際線基礎知識(渡航書類)、LL業務、危険物			⑨国際線、渡航書類についての知識を得る		
	23~24	10月9日:第3回(株)ドリームスカイ名古屋連携授業			⑩おもてなしの心を理解できる		
	25~28	国際線チェックインロールプレイングテスト(英語)、他コース連携授業					
	29~30	後期評価試験					
成績評価方法	【前期】期末筆記試験 60%、ロールプレイ30%、平常点(授業態度、出欠席)10% 【後期】期末筆記試験 50%、ロールプレイ30%、連携企業評価10%、平常点(提出物、出欠席)10%						
使用テキスト /教材	旅客実習テキスト(オリジナル)、教員作成プリント						
関連科目	旅客実習II、GS接客中国語						
その他	アピアランスを整えて授業に参加すること。制服・スカーフ着用のこと。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						